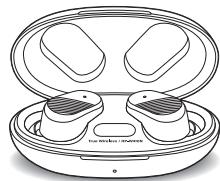


## 完全ワイヤレスイヤホン

型番 : HP-W410N-K 品番 : 03-2766  
HP-W410N-R 03-2767  
HP-W410N-A 03-2768



### このたびは、AudioComm® 完全ワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

#### 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ・弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ・本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- ・本製品のために費やした時間および経費
- ・本製品を運用した結果もたらされた損害
- ・本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ・本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

#### 主な仕様

●電 源	DC5V(USB給電：USB Type-C端子)
●内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池 3.7V (イヤホン: 40mAh 充電ケース: 250mAh)
●通 信 方 式	Bluetooth標準規格 Ver.5.1
●対応プロファイル	HFP, A2DP, AVRCP
●対応コーデック	SBC, AAC
●受講方式 / 周波帯域	GFSK / 2,402~2,480GHz
●最 大 通 信 距 離	見通し約10m(Class2)
●再生周波数帯域	20Hz~20kHz(A2DP)
●マイク指向性 / 感度	無指向性 / -42dB
●充 電 時 間	約1.5時間(イヤホン+充電器共通 残量ゼロからフル充電まで) 万が一、通常充電で残量50%未満の場合は、約6.5時間(50%充電)
●待 受 可 能 時 間	最大約100時間
●防 防 水 性 能	IP54(防塵形 / 防水形 イヤホンのみ)
●計 測 温 度 / 濕 度	温度: 0~40°C 濕度: 20~80%(結露なしにて)
●外 形 尺 法	イヤホン: 幅23×高さ13.7×奥行22mm 充電ケース: 幅70×高さ27×奥行35mm
●質 量	イヤホン: 約3.5g(1個あたり) 充電ケース: 約28g
●付 属 品	充電ケース、イヤーチップ(S・M・L MIは本体に 装着済み)、専用充電コード、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、再生、通話可能時間、待受可能時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスもとづき使用しています。※本書に記載しているシステム名、商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。※本書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

#### お手入れのしかた

本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭いてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭いてください。シナナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

### 充電式電池について

- 絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。
- 充電式電池(リチウムポリマー電池：イヤホン及び充電ケースに内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
  - 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

### 安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

### 危険

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

- 充電式電池(リチウムポリマー電池)が液洩れしたときは、素手で触らない
- ・本製品(イヤホン及び充電ケース)には充電式電池が内蔵されています。万一、液洩れしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- ・万一、液が目にに入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- ・液がからだや衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

### 警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 心臓ベースメーカーなどの医療機器を使っているときは装着部位から22cm以上離す
- ・電波により心臓ベースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 雷が鳴り始いたら、安全のためイヤホン、充電ケース及び充電コードに触れない
- ・感電するおそれがあります。
- 万が一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐ使用を中止する
- ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

- 万が一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する
- ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- ・販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

- 分解、修理、改修しない
- ・火災・感電の原因となります。

- 航空機内や医療機器の近くで使わない
- ・電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
- 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない
- ・高温になると、危険を防ぐため充電式電池(リチウムポリマー電池)が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- イヤホンや充電ケース、充電コードの上に重いものをのせない
- ・破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。
- 充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
- ・コードが破損して火災・感電の原因となります。

- 付属の充電コード以外では充電しない
- ・火災や電気、機器の故障の原因となります。

- 運転中は本製品及びスマートフォンを使用しない。運転中にスマートフォンの画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聞こないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では本製品を使わない
- ・必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。
- ・歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。
- 火の中に入れない

- ・本製品(イヤホン及び充電ケース)には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 充電ケースを他の製品に使用しない。また、充電ケースにイヤホン以外のものを入れない
- ・火災・感電の原因となつたり、ショートして故障するおそれがあります。

### 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電や他の事故によりけがをしたり、周囲の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

- 小さなお子様の手の届かないところに保管する
- ・誤飲など思ぬ事故を招くことがあります。
- 長時間、大音量で聴き続けない
- ・聴力障害などの原因となることがあります。
- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない
- ・感電や故障の原因となります。
- ぬれた手で操作しない
- ・故障や感電の原因となることがあります。
- 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない
- ・破損・故障の原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた上の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない
- ・落してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。
- 充電コードを熱器具に近づけない
- ・コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ズボンなどの後ろポケットに入れたり、かばんの中に入れてしまわない
- ・気づかず椅子などに座ったり、かばんに力が加わるなどして、変形や破損、故障の原因となることがあります。
- イヤホン及び充電ケースに、キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない
- ・内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどで拭かない
- ・変形・変色の原因となります。
- 自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない
- ・電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
- 充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない
- ・コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ・必ずプラグ部を持って抜いてください。
- 日本国外では使用しない
- ・本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
- ・国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

### Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内: Class2の場合)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

【バージョンとプロファイル】 本機は、Bluetooth標準規格 Ver.5.1(プロファイル : HFP, A2DP, AVRCP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。

※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。

※同じプロファイルに対応しても、性能・機能が制限される場合があります。

【通信可能範囲】 本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

【セキュリティ】 本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了解ください。

【機器認定について】 本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本機は日本国内でのみ使用できます。

【使用周波数と注意事項】 本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。

- ・ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- ・そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

### 保証書とアフターサービスについて

#### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

#### アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使用しているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

#### 防塵防水保護等級について

- 防塵性能 / 防塵形：正常な作動に支障をきたしたり、安全を損なうほどの量の粉塵が内部に侵入しない
- 防水性能 / 防水形：あらゆる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けない

本機(イヤホン)はJIS C 0920:2003(IEC 60529 : 2001)による保護等級「IP54」仕様になりますが、以下の点にご注意ください。

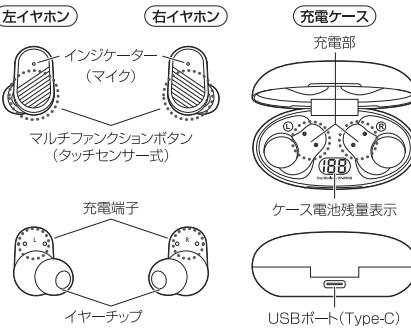
- 水中につけないでください。
- 石鹼の泡やオイルのついた手でさわらないでください(水分が浸入する可能性があります)。
- ドライヤーで乾かさないでください(密閉部が変形する可能性があります)。
- イヤホンがぬれたら、水分を拭きとり、よく乾かしてから充電ケースに戻してください。
- 水がかかるおそれのある場所で充電したり、保管しないでください。
- 充電ケース及び充電コードは防水仕様ではありません。
- 水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。

#### TWSとロールスワップ機能について

TWS(True Wireless Stereo)は2つのイヤホンをBluetoothによりペアリングすることで、ステレオサウンドを実現する機能です。また、本機はロールスワップ機能を搭載しており、音源となる機器とペアリングした後は、左右いずれかのイヤホンを単独で充電ケースから取り出した場合でも、追加のペアリング操作なしで使うことができます。

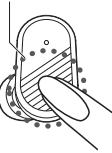
※ペアリングするときは、左右のイヤホンを2つとも取り出してペアリングしてください。片方だけでペアリングすると、もう片方のイヤホンが正しく認識されないことがあります。

## 各部の名称



## マルチファンクションボタンの操作方法

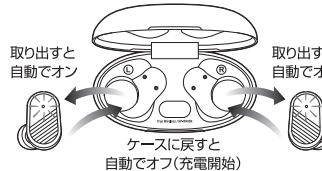
タッチエリア



- 本機のマルチファンクションボタンはタッチセンサー式です。指でタッチエリアに軽く触れる(タップする)だけで、再生／一時停止、スキップ、着信応答などの操作ができます。

- シングルタップ……1回タップする
- ダブルタップ……2回続けてタップする
- トリプルタップ……3回続けてタップする
- ロングタップ……タッチエリアに触れて続ける

## 電源のオン／オフ



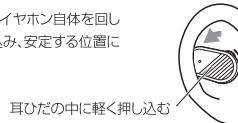
- 充電ケースからイヤホンを取り出すと、自動で電源が入ります。
- 電子音が流れ、インジケーターが赤／青の交互点滅(サーチモード：接続可能な機器を探している状態)になります。
- イヤホンを2つとも取り出した場合は、電子音が流れた後、双方が自動接続されます(オートペアリング)。その後、もう一度電子音が流れ、Bluetooth機器とのサーチモードになります(片方のみ赤／青の交互点滅)。

- イヤホンを充電ケースに戻すと、自動で電源が切れます。
- 充電ケースに電池残量があるときは、イヤホンの充電が始まります。

**ヒント** 充電ケースからイヤホンを取り出した後、手動で電源を入れ／切るには、マルチファンクションボタンをロングタップします(電源オン…約3秒間 電源オフ…約5秒間)。

## イヤホンの装着方法

イヤーチップ部を耳穴に入れ、イヤホン自体を回しながら耳ひだの中に軽く押し込み、安定する位置に装着してください。



## 充電のしかた

はじめて使うときは、充電ケース、イヤホンともに十分に充電してください。

### ポイント

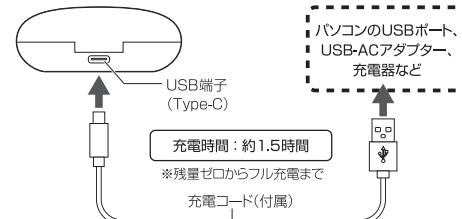
- 充電ケースの充電には、必ず付属の充電コードを使う。また、付属の充電コードを他の製品に使わない。
- 電源供給ができるUSBポートに直接接続する(USBハブなどを介さると正常に充電されません)。
- パソコンの省電力モード設定(スリープ設定など)を解除する。
- 家庭用コンセントで充電するときはUSB-AC電源アダプター(別売)を使う。

### ご注意

- 許容動作環境(温度：0°C～40°C、湿度：20～80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了してしまっても、途中で終了することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターへご連絡ください。
- 十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命を考えられます。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

## 充電ケースの充電方法

付属の充電コードを使って図のように接続してください。充電レベルがバーで表示されます。



## イヤホンの充電方法

- 充電ケースにイヤホンをセットすると、自動で充電が始まります。
- 充電中はイヤホンのインジケーター(赤)が点灯し、完了するとインジケーター(青)が約15秒間点灯した後、消灯します。



- 充電ケースの電池残量レベルを表示(あくまで目安です)
- ※イヤホンの充電完了後、しばらくすると消灯します。

## 音楽を聴くときの操作

### 左イヤホン

- シングルタップ | 再生／一時停止
- ダブルタップ | 音量を下げる | 音量を上げる
- トリプルタップ | 曲の先頭に戻って再生※1 | 次の曲を再生
- ロングタップ | 音声アシスタントを起動

※1 直後にもう一度トリプルタップすると、1つの曲を再生します。

### 右イヤホン

## ペアリングのしかた

ペアリングとは、本機とBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンなど)を相互に初期登録する操作のことです。

はじめての機器と接続するときは、必ずペアリングを行なってください。

1

イヤホンを2つとも充電ケースから取り出し、相手側機器に近づけます(1m以内)。

- 最初にイヤホンどうしがペアリングされ、続いてサーチモードになります(片方のイヤホンのみ、インジケーターが赤／青の交互点滅)。
- 必ず2つとも取り出してペアリングしてください。片方だけペアリングすると、もう片方のイヤホンが正しく認識されないことがあります。

2

相手側機器のBluetooth設定画面で本機を登録します。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定]→[Bluetooth]

Android : [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]

[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は参考例です。各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

## スマートフォン着信時の操作

### 左右イヤホン共通

着信中にタップ	電話に出る
通話中にタップ	電話を切る
着信中にロングタップ	着信を拒否する

### ご注意

- スマートフォンの設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていると、着信があってもイヤホンから着信音がならないことがあります。
- 一部のスマートフォンでは、Bluetooth使用に際して切換操作が必要なものがあります。機器付属の取扱説明書をご確認ください。
- 衣服やマフラーなどでマイクをふさがないよう注意ください。

## 故障かなと思ったら

### 充電ケースの充電ができない

- ・充電コードは正しく接続されていますか。
- ・パソコンに接続している場合、電源供給ができるUSBポートに接続していますか。USBハブなどを介さず、直接接続していますか。パソコンが省電力モードやスリープモードになってしまいませんか。
- ・付属品ではない充電コードを使用していませんか。

### イヤホンの充電が始まらない

- ・充電ケースの電池残量が不足していませんか。
- ・充電ケースの充電部やイヤホンの充電端子が汚れていませんか。

### 電源が入らない

- ・電池残量が減っていますか。
- ・電池残量のない充電ケースから取り出していますか(充電ケースの電池残量がない場合、イヤホンを取り出しても自動で電源が入らないことがあります)。

### ペアリングができない

- ・相手側機器の電源は入っていますか。
- ・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
- ・相手側機器が他の機器と接続していませんか。
- ・相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。

### TWS接続ができない

- ・イヤホンどちらも十分に充電されていますか(片方のイヤホンだけ電池残量不足していませんか)。
- ・イヤホンどうしが離れすぎていませんか。

### 音が出ない、ノイズやエコー音がしたり、音が途切れがちになる

- ・正しくBluetooth接続されていますか。
- ・本機または相手側機器の音量が最小になっていますか。
- ・相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。
- ・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

### 2回目以降使用時にBluetooth接続ができない

- ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
- ・相手側機器が他の機器と接続していませんか。
- ・相手側機器がスリープ状態になっていますか。
- ・相手側機器内で本機の登録が削除されていますか。

### スマートフォンに着信があっても、本機が応答しない

- ・本機との接続が解除されていますか。
- ・スマートフォンの設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていますか。
- ・一部のスマートフォンでは、Bluetooth使用に際して切換操作が必要なことがあります。スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

## イヤーチップの交換方法

本製品には3種類(S,M,L)のイヤーチップが付属しています。フィットするサイズを選んでご使用ください(工場出荷時はMサイズが装着されています)。

